

Living the

LOTUS

Buddhism in Everyday Life

7
2017

VOL. 142



開祖隨感

自分を燃やしきる

「法華經の一偈一句でも聞いて一念でも随喜する者は、必ず最高の悟りを得て仏になれることを、私が保証します」と「法師品」で仏さまは約束しておられます。

信仰は不思議なもので、ほんのわずかしき教えを知らなくても、「ありがたい、ありがたい」と言っている人は、次から次へ功德を頂戴できます。

ところが、あれこれ理屈をこねる人は、隅から隅まで教えを譜んじているようでも、なかなか功德がいただけません。どこに原因があるのかというと、理屈だけの人は感激がないのです。それで打ち込み方が違って来るわけです。

教えの一句でも、感激を持って受け止める人は、その教えを行じることに自分を燃やし尽くします。自分を燃やし尽くせる人は、周囲の人をも燃えさせることができるのです。ですから、まわり中が功德だらけになってしまって、もう、ありがたくてたまらなくなるのです。

素直な心で一瞬の感激ができるか、いたずらに理屈をこねまわして、行がおろすになってしまうかの違いで雲泥の差がついてしまうわけです。

(『開祖隨感』9, P. 56-57)

Living the Lotus 2017年7月号 (Vol.142)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international
@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 水谷庄宏

編集チーフ: 金尾江利子

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部經を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華經を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華經の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

相手を認め、讃える

立正佼成会 会長 庭野日鏡



「いのち」を讃歎する

人のすぐれているところをほめることを、一般に「^{たた}讃える」といいます。では、その「すぐれているところ」とは、何を基準にしてそいえるものなのでしょうか。

ふつう私たちは、成績がいいとか、仕事が早いとか、性格がいいとか、運動に^た長けているといった長所を指して「すぐれている」といい、その人を認め、讃えます。

ところが釈尊^{しゃくそん}は、自分の生命^{いのち}を奪おうとした提婆達多^{たいばだつた}を「善知識」と讃え、殺人鬼と恐れられた鶯掘魔^{おうくつま}（アングリマラー）の再生を信じ認めて、弟子の一人に加えたといわれます。

世間の常識とは異なる見方かもしれませんが、ここには、人を認め、讃えるときの大切な着眼点が示されています。

一般でいう「^{さんたん}賛嘆」は「深く感心してほめること」を意味します。この見方に立つと、自分を殺そうとした人を讃えることは、まずあり得ません。いっぽう仏教でいう「^{さんだん}讃歎」は、「^{ぶつ ぼさつ}仏・菩薩の徳をほめ讃えること」と教えています。そのことに照らせば、釈尊がどれほど罪深い人に対しても讃えることを忘れなかったのは、相手に仏・菩薩の徳の輝きを見ていたからにほかなりません。

人を評価し判断するうえで、その人の行動や言葉や性格は無視できないものです。しかし、そのことにとらわれると、もともと讃えるに^{あた}値する^{ぶつしょう}仏性という大切な視点を忘れてしまいがちなのです。仏法を学ぶ私たちにとって、人を認め、讃えるとは、相手の「いのち」を讃歎することではないでしょうか。



ただ実際には、なかなかそこまでは気づけません。それでも、たとえば親が子を見る
とき、上司が部下を評価するとき、あるいは友だちとふれあうときに、相手のすぐれたと
ころを見る心がけとともに、私たちはお互いさま、本来、仏・菩薩の徳を本具する「いの
ち」であるということを忘れてはならないと思います。

ノウハウや言葉ではなく

ほめるとか讃えるという、最近はとくにテクニックとしてのそれがもてはやされ、人
材育成や子育てのマニュアルには「ほめる」効用があふれています。江戸時代の僧、
慈雲尊者の「やってみせ 言うて聞かせて させてみて ほめてやらねば 人はで
きぬぞ」という言葉も、そうした意味の名言として引用されることが多いものです。と
ころがよく読むと、ここでは教えるほうも教えられるほうも、ともに成長していくことの大切さ
が示されています。

相手をほめるというのは、自分の心を開くことです。ほめることが大事といわれても、
頑な人は、そのままではお世辞の一つも出てきません。素直に相手を認め、讃えていく
気持ちが、人と打ち解けたり、和やかな関係を築くことになるのでしょう。その意味では、
人を認めて讃えることも、じつは人のためではなく、自分を磨く実践の一つといえるかも
しれません。

昭和四十年のことだったでしょうか。私が当時、さまざまな葛藤を抱えたまま、初めて
断食に臨んだときのことです。断食道場で八日間の断食と漸減・漸増食の期間を終
え、帰宅してお風呂に入っていたところ、突然、父・開祖さまがお風呂場に入ってきたの
です。さらに「背中を流してやろう」といって、体重が落ちた息子の背中を流しながら、
「背中にツヤが出てきたな」と、ほめ言葉ともいえないようなひと声をかけてくれました。

ごくありふれた、親子の裸のつきあいだったのですが、私ども親子にとって、めったに
ないできごとでした。その経験から、相手を認め、讃えることについて、何が大切な
かが少しわかる気がします。けっしてノウハウや上手な言葉ではなく、自他のいのちの
尊重と、相手の成長を心から願う気持ちに尽きるように思うのです。

(『佼成』2017年7月号)



私の中の仏さま

スリランカ教会

カランデ・カンカナムゲ・マーリ・アルウィス

この体験説法は、2016年11月1日、東京の大聖堂での布薩の日ご命日式典にて行われたものです。

みなさま、お願いいたします。私はマーリ・アルウィスと申します。インドの南に位置する島国、スリランカからまいりました。

結婚して31年、夫は家族を心から愛し、地道にコツコツと働く素晴らしい人です。29歳の息子は、お陰さまで今年結婚のお手配を頂きました。娘は27歳になりました。我が家は夫、息子、お嫁さん、娘、そして犬を含め5人と1匹で暮らしております。また、立正佼成会スリランカ教会では家庭拠点法座リーダーと家庭教育推進責任者のお役を、スリランカ政府に登録された立正佼成ダルマ財団では理事のお役を頂いております。

2010年、山本宜亮教会長さんがスリランカに着任されました。山本教会長さんは、「心田を耕す」をテーマに会長先生が20年にわたって「み仏さまは絶対であること」、「私たち一人ひとりの中に、み仏さまの御いのちが生きていること」を教えてくださいました。私たちに話してくださいました。

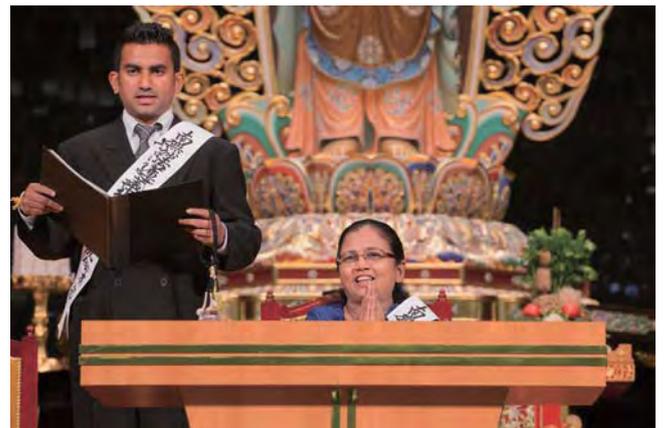
スリランカで生まれ、敬虔な上座部仏教徒の両親のもとで育った私には、私のなかに仏さまの御いのちがあるとは、なかなか信じられませんでした。でも、今は少しずつ信仰を深め、教えを实践させて頂いております。

私は1996年に立正佼成会に入会いたしました。夫の友人のガミニ・チャンドラセケラさんから、「日本の団体だから一度来てみませんか」と誘われたのがきっかけです。出家したお坊さんがいない団体だと知って迷いましたが、夫の友人のお誘いでしたので、お断りすることはできませんでした。しかし、初めて教会を訪れたとき、私は温かい雰囲気の中かで信者さんたち

がお互いに礼拝している姿に心を惹かれました。また、他の人々、両親や先祖に感謝することにも魅力を感じました。スリランカでは、毎月、満月の日はポヤデーという国民の祝日になっていて、在家仏教徒はお寺に参拝します。私はこのポヤデーに行われる佼成会の式典に参加するようになりました。

数年後、斎藤光央前南アジア伝道区長さんのお慈悲により、スリランカに東京家庭教育研究所の講師さんたちをお迎えし、家庭教育の講演会が行われるようになりました。そして講演会に参加することで、今まで我が子を自分の思う通りに育てようとしてしまっていたことに気づき、自分自身を振り返ることができたのです。家庭教育は、「人さまの中の仏さまを拝んでいく」ことを教えて下さっている法華経の教えそのものとわかりました。そして、家庭教育は法華経の教えをお伝えする手段の一つであることもわかりました。今では、スリランカ中の親御さんたちに講演会のお話を聞いて頂こうと、みんなで頑張っています。

そうした中、2015年からスリランカ教会では、各家庭を中心にした「家庭拠点法座」が始まりました。教



大聖堂で説法をするアルウィスさん

会でご本尊の勧請を頂いた会員さんなら誰でも自主的にその「家庭拠点法座リーダー」のお役を誓願することができます。自宅などに親戚や知人に集まって頂いて、立正佼成会の教えを学び合う法座を行います。「家族一人ひとりの仏さまを拝んでいこう」というのがテーマです。私も、その家庭拠点法座リーダーのお役を誓願させて頂きました。

親戚、ご近所、友人、知人の手取りをさせて頂く中に、30年近く前からの知り合いの女性がいました。彼女は、ご主人と3人の息子さんに恵まれて暮らしていましたが、ご主人がバイクの事故で突然亡くなり、その事故からわずか5ヶ月後に、今度は実のお父さんを急病で亡くされたのです。彼女には兄弟がいなかったため、15歳、9歳、1歳の息子3人と体の弱い母親が彼女のもとに残されました。

専業主婦だった彼女には収入を得る手段がありませんでした。また、不幸が重なったため、次は息子たちの命が奪われてしまうのではないかと恐れ、父親が建てた自宅に災いがあるのではないかと不安を感じるようにもなりました。思うように身体を動かさない母親の介護も、彼女に負担をかけていたようでした。

彼女は持ち家だった自宅を他人に貸し、小さな借家に引越をしました。ところが親戚から、実の母親をなぜ大切にしないのか、なぜわざわざ狭い借家に引越したのか、などと咎められ、とても苦しんでいるようでした。悩みを誰にも相談できず、私のことを頼って訪ねて来てくださったのです。お話を聞かせて頂くと、彼女は実のお母さんに対してできる限りのことをしているのに全く感謝をされないことや、何の援助をしてくれるわけでもないのに、親戚がたまに訪ねてきては彼女を非難していくことを、怒りを込めながら話し続けました。

私は、彼女と一緒に教会長さんのご指導を頂きに行きました。教会長さんは彼女に対して、「私には、あ

なたがお母さんを心から愛し大事に思っていて、優しくお世話をして差し上げたいと思っている気持ちが伝わってきます。どうか、あなたの本当の心のままに、生んでくださったお母さんに感謝して、何でもして差し上げてください。親戚の人たちには、心配して来てくれることに感謝していきましょう」とご指導くださいました。そして私には、「どんなに苦しい時でも、み仏さまを信じていきましょう。マーリさんは、彼女の仏さまが輝いていると感じられるようになるまで、み仏さまを信じて手取りを続けてください」とご指導くださいました。

私はその教会長さんのご指導を信じて、一心に彼女の仏さまを拝む修行をさせて頂きました。すると彼女は、なんと教会長さんのおっしゃる通りに実践を始めたのです。私はそのことに驚き、同時に教会長さんが感じられた「お母さんを大事にしたい」という彼女の思いは、彼女の中のみ仏さまの現れだったのだと感じました。そして、彼女の信心の強さも感じました。その後、彼女のお宅にも教会勧請のご本尊がご安置され、彼女自身、朝夕のご供養をするようになっていきました。

不思議なことに、しばらくすると、次々に人が亡くなる家と言われ、なかなか売れなかった彼女の実家を買ってくれる人が現れたのです。それは、彼女にとって一筋の光が差し込んだようなできごとでした。そのお手配によって、彼女の家族が毎日の生活に困ることはなくなりました。

その後、17歳になった次男さんが、学校からお話しを頂き、なんと中国に留学するお手配を頂いたのです。そして、次男さんが中国へ旅立つのを見送ったあと、長く患っていらっしゃったお母さんも旅立っていかれました。祖母の介護を続ける母親と幼い弟のために、わずかな給料でスリランカで働いていた長男さんも奨学金を受けるお手配を頂いて、今年の10月、中国に留学しました。留学中のため、生活費を仕送りす

Spiritual Journey

ることは難しいようですが、二人ともアルバイトをしながら自立して生活をしているようです。数年後に帰国したとき、中国語、英語、シンハラ語を話せる人材として、二人がスリランカで仕事ができるように念じております。教会長さんから教えて頂いたように、「み仏さまを信じて拜んでいく」ことが救われにつながることを、彼女の事を通して学ばせて頂きました。

立正佼成会にお導き頂いて20年目の11月1日に、大聖堂でのお説法のお役を頂いたと教会長さんからお聞きしたときは、言葉にならないくらい感激しました。日本のみなさまから本当にたくさんのお慈悲を頂いていることや、このみ教えを開祖さま、会長先生が説いてくださっていることに感謝申し上げることができると思ったからです。

ところが、今年の8月23日の午後7時半ころ、息子が運転していた車が高速道路の側道に衝突して横転し、後部座席にいた私は腰と両足付け根の骨にひびが入る大怪我をいたしました。亡くなった父への回向のために、親戚中で協力して318人の癌患者さんの入院先に夕飯を作ってお布施させて頂いた帰りの道でした。



家庭教育の打合せをするアルウィスさん(左)とスダシンハさん

運転していた息子は疲れていたのでしょう。いねむりをしてしまったのです。車は大破しましたが、運転していた息子も助手席の嫁もかすり傷一つなく無事でした。高速道路警察の方から「この場所で起きた事故で生存者がいたのは初めて」と言われたと、夫が話してくれました。まさに仏さまのご守護としか思えませんでした。未会員の親戚も、「マーリは日頃から一生懸命に立正佼成会の信仰をしているから、これぐらいの怪我で終わったのね」と言ってくれたのには驚きました。

ただ、息子は、「なぜ、一生懸命信仰しているお母さん一人が、こんな怪我をしなくてはいけないのか」と言っていたようです。もし、この事故で息子や嫁の生命に何かあったら、私は生きてはいられません。そのことをみ仏さまは良くご存じて、私一人の怪我で終わらせてくださったのだと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

病院のベッドの上で、私はこのお説法のお役をお断りしたほうが良いのではないかと悩みました。しかし、スリランカ教会の代表として、仏さまから頂いたお役をどんなことがあってもさせて頂こうと、日本に行くことを心に決めました。

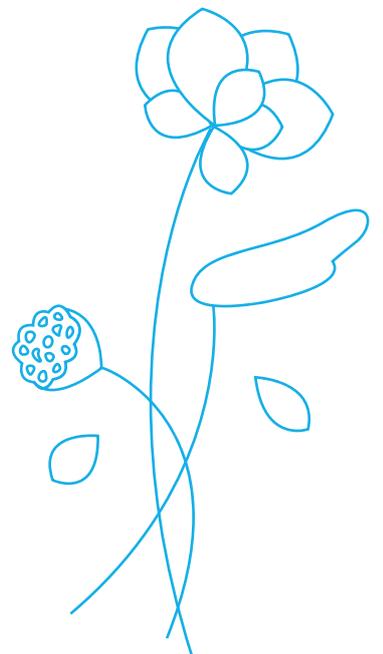
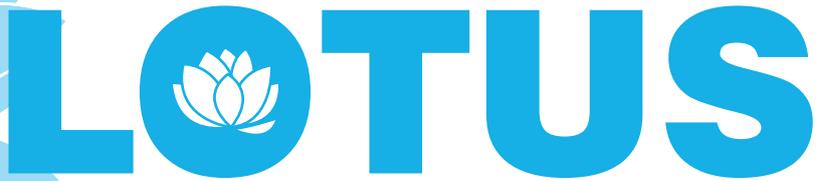
来年はスリランカ教会道場の入仏・落慶式が行われます。私たちスリランカ立正佼成会の信者にとって、新道場は聖地です。久遠のご本尊像をご安置させて頂けることを、今から楽しみにしております。

今あるこの命は、本来なら事故で無くしてしまってもおかしくないものでした。み仏さまから頂いた命だと思っております。会長先生のお説きくださる「み仏さまは絶対！法は絶対！」という真理を信じ、この頂いた命を使って法華経の広宣流布に精進させて頂くことをお誓いさせて頂きます。

日本のみなさま、ご清聴ありがとうございました。

Living the

LOTUS



Childcare lifeline

中学2年の娘が親に反発。どう接すれば・・・

Q 中学2年の娘が、親に反発するようになりました。携帯電話もレンタルで購入し、いつもメールをしています。夜は門限を守りません。小遣い以上の買い物をしているように見受けられます。部屋は散らかし放題で、注意すると「うるさいなー」と聞こうともしません。きつく注意しても反発するだけです。どう接すればいいのでしょうか。



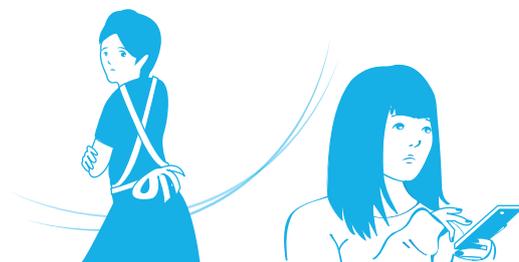
A 中学生になると精神的離乳期を迎えます。子ども扱いされることを嫌い、自分自身の考えに従って、ものを見、考えるようになります。したがって親からの命令、干渉、支配、強制に強く反発してくるものです。きつく注意すればするほど心は反対の方へ向くのです。

「自分の力で生きていきたい」という心は大人への第一歩ですので、その子どもの心を尊重し、お母さんが冷静になって、娘さんの変化を見守ることで。具体的には、携帯電話を持つこと、門限を守ること、小遣いの使い方、部屋の片付けなど一つひとつに対して一方的に親の価値観を押し付けていないか、振り返ってみましょう。そして、「どうしたの？あなたらしくないわね。何か悩んでいることでもあるの？」と、まず子どもの思いをよく聴いて、その思いに共感したり、子どもの予定・計画性・考え方を尊重して、受け入れることが大切だと思います。

もちろん、「子どもの言いなりになる」というものではありません。子どもの心をしっかりと受け入れた上で、門限や小遣いに対する親自身の気持ちや考えを伝え、お互いに理解し合うことです。理解には「同じ考え方で同じ方向に歩む」という意味もありますが、お互いの違いを認め合うことも理解なのです。むしろ、中学生期は子どもとの考え方の違いを認め合いながら、親は見守り、協力していくという立場

です。理解が深まればおたがいに相手の立場にたった思いやりの心でふれあうことができます。

「うるさいなー」と言われるということは、きっと口数が多く、うるさいのだと思います。口数も少なくして、子どもに寄り添おうとするお母さんの努力は、必ず子どもさんにも伝わります。親に一人の人間として認められ、信頼されていることが分かんると、子どもは自分自身も、他の人をも大切に出来る人間へと成長していくことでしょう。



Point

中学生期は、理想我にめざめ自尊心が高まり、その自尊心を認めてほしいという欲求が強くなる時期です。何かで自分の存在を認めて欲しいと願い、いろいろな姿を示して大人に訴えてきます。これがいわゆる中学生の問題行動であり、反抗です。この反抗現象を子どもの精神的成長と受けとめて接していくことが大切な点です。

(回答:東京家庭教育研究所)

協力: 東京家庭教育研究所

〒166-0012 東京都杉並区和田1-5-12

電話 03(3381)0705

FAX 03(3381)0723

<http://www.kateikyoiku.jp/>

東京家庭教育研究所は、「親が変われば子どもが変わる」という教育原理に基づいて、各地で講演会・講座を開催、また子育ての相談に答えています。多くの方が、「子どもに学ぶ家庭教育」を学び、たくさんの幸せな家庭が誕生しています。

親が合掌を忘れずに

娘さんは、思春期を迎え、精神的にも肉体的にも不安定になっているようですね。しかしこれを機に、娘さんは一歩も二歩も成長し、たくましくなります。

そんな時、親はどう見守ればいいのか。会長先生は次のように教えてくださっています。

「親が仏法に目ざめ、いつも感謝の気持ちがあれば、たとえ、子どもが衝動的な言動をぶつけてきても、穏やかに受けとめてあげられます。そして、合掌の精神を忘れるようなことはありません。子どもは、そんな親の姿に信頼感を抱き、心を開いて、悩みなども率直に話すようになるのです。」(一乗ブックレット『尊いいのちを育むには』P 43, L 7~L 9)

娘さんが中学2年生なら、お母さんも親として中学2年生です。娘さんの不安定な心に寄り添いながら、仏さまからの授かりものの娘さんのいのちを礼拝し、娘さんとのふれあいを通して親の自分が学んでいきましょう。

(立正佼成会習学部監修)



Please give us your comments!

皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

Eメール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

自分の中の仏さま、相手の中の仏さまを拝む

先月6月4日、立正佼成会スリランカ教会の新道場の入仏落慶式典が、スリランカ最大の都市コロンボの郊外で行われました。上座部仏教の伝統を誇るスリランカの地に、久遠本仏像をご安置した新道場のお手配をいただくことができたのは、スリランカ教会の山本教会長さんをはじめ、教会の会員の皆さまのご精進の賜物であります。

山本教会長さんが2010年に着任して以来、会員の皆さまにお伝えてきたことは、自分の中の仏さまを拝み、相手の中の仏さまを拝むことでした。上座部仏教の皆さまにとって仏さまとは最高に尊いお釈迦さまのことであり、その尊い存在が自分の中にいらっしゃると教えていただいても、はじめはとても信じられなかったそうです。しかし、教会長さんの8年にわたる説法と自らの実践によって、会員の皆さまは今では自然に自分の中の仏さまを自覚し、相手の中の仏さまを拝んでいらっしゃいます。

入仏落慶式典をとおしてスリランカの会員の皆さまの純粋な仏性礼拝の姿とあふれるようなよろこびに接し、私は大きな感動をいただきました。

国際伝道部長
水谷庄宏



Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers

2017

Rissho Kosei-kai International

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street Suite #1 Los Angeles
CA 90033 U.S.A

Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437
e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, U.S.A.

Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261

e-mail: rkseattlewashington@gmail.com

http://buddhistlearningcenter.org/

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.

P.O. Box 692148, San Antonio, TX 78269, USA

Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745

e-mail: dharmasanantonio@gmail.com

http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.

Tel: (727) 560-2927

e-mail: rktampabay@yahoo.com

http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.

Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633

e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.

Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, U.S.A.

Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.

Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567

e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.

Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437

e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, U.S.A.

Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499

e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, U.S.A.

Tel: 1-773-842-5654

e-mail: murakami4838@aol.com

http://home.earthlink.net/~rkchi/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112, U.S.A.

Tel & Fax: 1-405-943-5030

e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Klamath Falls

1660 Portland St. Klamath Falls, OR 97601, U.S.A.

Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204, U.S.A.

Tel: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419, U.S.A.

http://www.rkina-dayton.com/

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,

CEP 04116-060, Brasil

Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

Fax: 55-11-5549-4304

e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,

CEP 08730-000, Brasil

Tel: 55-11-5549-4446/55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Zhongjhen District, Taipei City 100, Taiwan

Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433

http://kosei-kai.blogspot.com/

Rissho Kosei-kai of Taichung

No. 19, Lane 260, Dongying 15th St., East Dist.,

Taichung City 401, Taiwan

Tel: 886-4-2215-4832/886-4-2215-4937 Fax: 886-4-2215-0647

Rissho Kosei-kai of Tainan

No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan

Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

Rissho Kosei-kai of Pingtung

Korean Rissho Kosei-kai

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea

Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696

e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea

Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

Branches under the Headquarters

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,

North Point, Hong Kong, Republic of China

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960
e-mail: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax : 39-06-48913949
e-mail: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK**Rissho Kosei-kai of Venezia**

Castello-2229 30122-Venezia Ve Italy

Rissho Kosei-kai of Paris

86 AV Jean Jaures 93500 Tentin Paris, France

International Buddhist Congregation (IBC)

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Sugunami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 Fax: 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibc-rk.org/>

Rissho Kosei-kai of South Asia Division

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Sugunami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,
110060, India

Rissho Kosei-kai of West Delhi

66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka
New Delhi 110075, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar,
Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur,
Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Singapore

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh
#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218
e-mail: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,
District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu**Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
Tel: 94-11-2982406 Fax: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**Rissho Kosei-kai of Habarana**

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Other Groups**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**